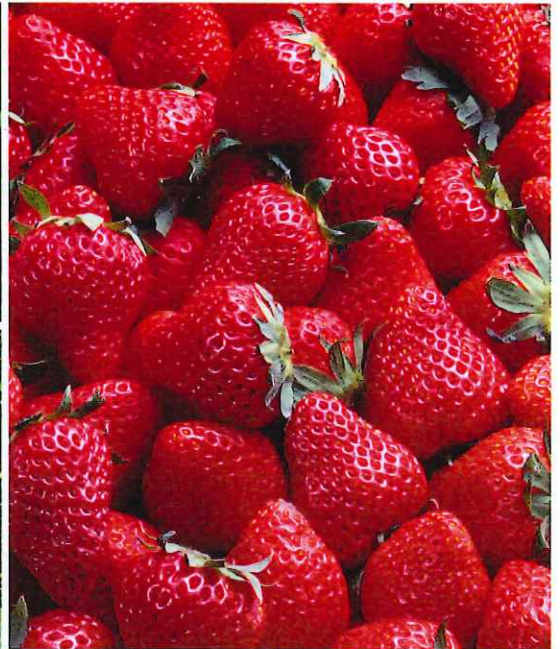




ケイ酸吸収による
細胞強化と
耐病性向上に

カカラン

5kg入



稲の苗に
カカラン

ケイ酸パワーで体質強化!



稲はチッソの
10倍のケイ酸を
吸収します。

稲はケイ酸で
外敵から
身を守ります。

稲はケイ酸が不足すると軟弱な生育となり、
田植え後の冷風害を受けやすく、倒伏もしやすい。
またイモチやモンガレ等も発生しやすくなります。

株式会社 **ジャット**

カカラン

保証成分:ケイ酸12%
加里 6%

カカランの主成分ケイ酸カリは植物生育上で、病害抵抗性を維持向上する働きをもつ重要な成分です。ケイ酸の施用による効果事例が学会等において発表されております。

作物	主な効能
稲	耐病性の向上・健苗育成・耐倒伏性向上
ウリ類	表皮細胞・茎葉の強化・耐病性の向上
イチゴ	表皮細胞・茎葉の強化・耐病性の向上

〈カカランの使用方法〉

作物名	使用法		備 考
キュウリ スイカ	地上部	葉面散布 200～400倍	新葉部に、より効果が発揮されます。 早目の使用が効果的です。
	地下部	定植後1ヶ月までに 灌水3～5kg 2回	
メロン	地上部	葉面散布 200～400倍	摘芯後、葉が成葉大になってからの使用は、 十分な効果を発揮しない事がありますので、 早めの使用が効果的です。
	地下部	摘芯までに灌水3～5kg 2回	
イチゴ	地上部	—————	新葉部に、より効果が発揮されます。 早目の使用が効果的です。 軟果対策には3～5kgの灌水2～3回/月
	地下部	灌水5kg 2回/月	

作物名		施用時期	施用量	施用法	備 考
稲	育苗期	1.5～2.0葉期 (緑化後)	20倍液 (500cc/苗箱)	灌水	5kg缶で約200箱分の 処理が出来ます。
	本田	幼穂形成期	3kg/10a	流し込み or 散布	散布むらを防ぐため 希釈後使用が効果的です。

使用上のご注意

- 単体使用が原則です。(肥料、液肥、農薬と混合すると葉害を生じる事があります)
- 塩分や肥料分を含む水には混合できません。
- 展着剤は入れないでください。
- 使用時には手袋をはめ、特に眼に入らないようにご注意ください。万一、眼に入ったら直ちに清水で洗い、医師の診察を受けてください。
- 本剤はアルカリ剤です。誤飲した場合は大量の牛乳または水を飲み、直ちに医師の診察を受けてください。
- 使用器具は、使用前と使用後によく洗ってお使いください。(水洗いしないと噴口がつまる事があります)
- イチゴは灌水施用のみで使用してください。
- 高温時の葉面散布は障害発生の恐れがありますので、うす目もしくは、使用しないでください。(特にナスの果実には注意)

取扱

製造・発売元

株式会社 **ジャット**

本社: 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4-2-4

TEL 06-6121-4300 FAX 06-6121-4302

札幌 仙台 さいたま 大阪 久留米